

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

| | | | |
|---------------------------------------|--|-----|---------------|
| 名称：ピュアリー鷺沼保育園 | 種別：認可保育所 | | |
| 代表者氏名：齋藤 陽子 | 定員（利用人数）： 40(39)名 | | |
| 所在地：〒216-0004 川崎市宮前区鷺沼3-2-4ラ・ルーチェ鷺沼1F | | | |
| TEL：044-948-8458 | ホームページ： https://www.purely-hoiku.jp/cont3/main.html | | |
| 【施設・事業所の概要】 | | | |
| 開設年月日 2018年4月1日 | | | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社フェイスフルラバース | | | |
| 職員数 | 常勤職員 | 10名 | 非常勤職員 8名 |
| 専門職員 | 保育士：園長 | 1名 | 保育士：主任、副主任 2名 |
| | 保育士 | 13名 | 看護師 1名 |
| | 栄養士 | 1名 | 調理員 1名 |
| 施設・設備の概要 | 乳児室 | 3室 | 幼児室 1室 |
| | 沐浴室 | 1室 | 調理室 1室 |
| | トイレ | 1室 | 事務室 1室 |
| | 職員休憩室 | 1室 | |
| | 鉄筋コンクリート造り5階建て 建物延床面積：(92.40)㎡ | | |

③ 理念・基本方針

【理念】

- ・一人ひとり丁寧にかかわり、生きる力の基礎となる保育を目指します。
- ・子どもたちが安心して過ごせる、家庭的な保育を目指します。

【基本方針】

- ・一人ひとりの発達や個性を尊重し、自立を支援します。
- ・自分を表現する力、考えて行動する力を育てます。
- ・徳育、体育、知育の調和のとれた環境の中で「生きる力」を育む援助をします。
- ・様々な体験を通して、失敗や困難に立ち向かおうとする力を育てていきたいと考えます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

ピュアリー鷺沼保育園は、株式会社フェイスフルラバースが運営する2018年4月1日に設立の保育園です。東急田園都市線鷺沼駅から徒歩3分の学生専用マンションの1階にあります。駅の裏手で住宅も多く静かな地域です。

近くには公園も点在しており、ふれあい公園（カッパーク）を中心に、幼児は小台西公園まで足を延ばしています。園庭はありませんが、テラスでは水遊びやペインティング、野菜の栽培等の活動をしています。現在、0歳児から5歳児まで39名（定員

40名) が在籍しています。

【園の特徴】

0～2歳児は各保育室を生活の場とし、「乳児期」には心身ともに安定して過ごせるよう職員との信頼関係を築き、一人ひとりの育つ力を見守ることを大切にしています。3～5歳児は縦割りクラスで1フロアを3つのスペースに区切って、「幼児期」には安心して自分を表現しながら、友だちとの関わりを通して社会性を育むことを大切にしています。

園ではモンテッソーリ教育を取り入れ、興味を持った活動にじっくり取り組む時間を大切に、園生活の中に生かし、自立を助けています。また、リトミック・クッキング・運動遊び等を取り入れ、子どもたちが園生活を豊かに楽しめるようにしています。

看護師による「いのちの教室」では、男女の身体の仕組みと赤ちゃんの誕生の喜びを、わかりやすく幼児に伝えています。子どもたちは、そこで「誰でも大切な存在であること」を学んでいます。

⑤ 第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|--|
| 評価実施期間 | 2022年 3月 1日（契約日） ～ 2022年10月28日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 1 回（ 年度） |

⑥ 総評

◇特長や今後期待される点

1. 子どもが自分で遊びを見つけ、生き生きと過ごせる自立に向けた環境づくり

0歳児の保育室には、子どもの発達に合わせて目で見て楽しむモビール、触れて音の出るおもちゃ、ハイハイ・お座り・つかまり立ちで遊ぶおもちゃを揃えています。子どもが「おもしろい！」を実感して、「もっとやりたい」意欲と職員の言葉かけで「やったー！」の喜びを享受し、自分でやろうとする力の土台をつちかっています。

1歳児以上の保育室には子どもが自分で選んで遊べる遊具や教具が備えられ、子どもたちは、やりたいことを見つけて取り組んでいます。カブトムシ等を飼育し、発見したことを子ども同士で会話したり、図鑑で調べたり、絵に描いたり、文章にするなど、子ども同士で知恵を出し合うことが「できる」自信につながっています。

また掲示した服の着脱の図を子どもは見ながら、「自分で！」の思いをふくらませて取り組んでいます。

2. 保護者とともに子どもの育ちを見守る姿勢

年度始めに担任間で話し合った「今の子どもの姿、大切にしていきたい関わり・取り入れたい活動、1年後の姿」を絵で表現して、保護者に見えるように廊下に掲示しています。

コロナ禍の中、年度末のクラス懇談会の代わりに、【これからの発達の特徴】と関わり方のポイントを書面に、家庭と園が思いを一つにして関わることの大切さを伝えています。「子どもとの関わり方で困ったときの我が家の解決法」等のアンケートを取り、結果を報告して子育ての情報交換の場としています。

3. 職員が共に育ちあい、子どもたちと楽しみを共にする関わり

職員自らが課題を見つけ保育の質の向上を目指せるように、毎月の園内研修のほか、小グループの中で決めたテーマについて学び、年度後半で全体に発表し、お互いの学びを深めています。

職員は、子どもたちが自ら気づき（＝発見し）感動を共にする環境づくりを大切にしています。さらに5歳児では、子どもたちで話し合い、行事や遊び、生活のルールを決めるなど、子どもの自立に向けた取組を職員は大切に見守り、子どもたちと楽しみを共にしています。

4. 指導計画や保育日誌の様式の工夫を

月間指導計画は月のねらいのほか、週ごとのねらいと振り返りが書かれていて、月の振り返りは別紙に記載しています。職員は担当クラスで話し合い、保育の振り返りをしっかり行っていますが、ねらいに対する振り返りがわかりやすいように、指導計画や保育日誌の様式の工夫が望まれます。

5. 園の中長期計画や事業計画に進捗状況や担当者を明記し、全職員に周知を

法人において中長期計画を作成し、実施状況も把握して保育園に報告・助言しています。書面上で進捗状況や見直しがわかるような形式が望まれます。

単年度の事業計画の策定、見直しは園において行っています。半期ごとの評価や担当者等を書面にして、進捗状況を全職員が把握できる仕組みが望まれます。

6. 法人として職員の将来の姿を描くキャリアパスの作成を

人事基準は「就業規則」に明記されており、職員は昇進・昇給等を周知していますが、将来の姿を描くことはできません。キャリアパスを作成し、職員に明示することが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

ピュアリー鷺沼保育園は、日々お子様ひとり一人が楽しく生き生きと過ごせる保育園を目指して、より良い環境作りや個々に合わせた援助の在り方や環境作りを実現していくために、近年は特に職員の研修に力を入れてまいりました。現在は少しずつではありますが、一步一步前へ進んでいることを実感できるようになりました。

そしてその一環として、更なる保育の向上を目指し今回の第三者評価を受けました。準備の段階から、様々な分野・視点から客観的に保育や環境を見つめ直し、自己評価することの大切さを感じました。そしてご意見いただいたことで新たな気づきがあり、改善点も明確になりました。

また、これまで取り組んできたことの成果も感じることができ、自信を持って更なる向上を目指していきたいと職員一同気持ちを新たにしております。

この度、お忙しい中、アンケートにご協力いただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり